

平成30年度事業実績及び平成31年度事業計画

令和元年6月26日 平成31年度第1回嘉麻市スポーツ推進審議会

基本目標	基本施策	事業概要	平成30年度 事業実績		平成31年度事業計画		
			実施事項	成果	課題	課題解決に向けての対策	実施事項
1 スポーツによる地域の活性化	1 スポーツ推進委員・指導者派遣事業	地域のスポーツに関するコーディネーターとしてスポーツ推進委員・指導者を派遣します。専門的な知識や技能だけではなく心身に及ぼす改善効果の重要性を広める担い手として活躍してもらいます。	①運動能力アップ親子塾は年中から小学3年生までとその保護者を対象に家庭でもできる運動遊びを紹介することで、親子のスポーツ機会の充実を図りました。（スポーツ推進委員） ②学童保育所出前講座は児童に対してコーディネーショントレーニングとニュースポーツ等の運動指導をすることで、子どものスポーツ機会の充実を図りました。（スポーツ推進委員） ③嘉麻市社会福祉協議会のふれあい・いきいきサロン取り組み団体の申し出に応じて地域の公民館等に出向いて運動指導を実施することで、市民のスポーツ機会の充実を図りました。1サロン年2回までで2年継続事業（土日：スポーツ推進委員、平日：地域活動指導員）	①運動能力アップ親子塾は4回延べ95人の親子が参加しました。 ②学童保育所出前講座は童保育所7ヵ所において延べ22回実施し、延べ544人の児童や保護者が参加しました。 ③7地区のサロンに1回または2回実施し、延べ203人が参加しました。	平成30年度からふれあい・いきいきサロンへの出前講座を開始し、コーディネーショントレーニングやニュースポーツなど地域の公民館でもできる運動を地域住民に紹介しています。事業は1サロン4回まで限定しており、地域の自主的な活動への移行が課題です。	各サロンの実施場所や参加者の年齢構成は様々です。各サロンに応じたスポーツ等を紹介するとともに、スポーツ備品の貸し出しやスポーツに関する情報を提供するなど継続的な取り組みができるよう側面的な支援を実施します。	①運動能力アップ親子塾 ②学童保育所出前講座 ③ふれあい・いきいきサロン出前講座
	2 スポーツ情報提供事業	広報紙、回覧等を使ってスポーツイベント情報等の広報、スポーツ団体組織、スポーツ運動施設など身近な情報を提供します。また、スポーツや運動が人間にとって、どのような意味があるかを市民に広く伝えます。	広報嘉麻及び嘉麻市スポーツ情報ホームページにおいて、各種スポーツ教室や荒木秀夫教授のコーディネーション理論を情報提供することで、市民のスポーツ活動の活性化を図りました。特に嘉麻市スポーツ情報ホームページは、施設利用案内や教室・イベント情報、スポーツ団体情報、プロジェクトKの取り組みなど嘉麻市のスポーツ情報を集約し情報提供しました。	ホームページ閲覧件数が1か月平均で29年度の3,517件から30年度は4,084件に増加しました。	掲載してきた情報は、市が主催する事業が中心でしたので、今後は各種スポーツ団体等の情報も掲載するなど内容の充実を図ることが必要です。	嘉麻市スポーツ情報ホームページにおいて、目的別に様々なスポーツ情報を得ることができるよう、市体育協会や市内のスポーツ団体、指定管理者の情報など掲載内容の充実を図ります。	嘉麻市スポーツ情報ホームページの運用
	3 スポーツによるコミュニティ創造事業	スポーツをコミュニケーションの1つととらえ、市民がスポーツを実施する機会を提供するとともに、継続的にスポーツを実施することができるようにサークル設立を支援し、スポーツに関する情報発信を行うことでスポーツ人口の増加を図るとともに、市民の交流の機会を提供します。	嘉麻市社会福祉協議会のふれあい・いきいきサロン取り組み団体を対象に出前講座を開始しました。平日は地域活動指導員が、土日はスポーツ推進委員が公民館等に出向き運動指導することにより、市民の憩いの場の創出を図り、市民が健康づくりに取り組みながら地域コミュニティが形成できるよう支援しました。1サロン年2回までで2年継続事業	平日（地域活動指導員） 枝坂2回23人、山野第一回43人、口春2回20人、樋渡2回20人の計7回106人 土日（スポーツ推進委員） 平東2回35人、上大隈2回47人、上臼井東1回15人の計5回97人	平成30年度からふれあい・いきいきサロンへの出前講座を開始し、コーディネーショントレーニングやニュースポーツなど地域の公民館でもできる運動を地域住民に紹介しています。事業は1サロン4回まで限定しており、地域の自主的な活動への移行が課題です。	各サロンの実施場所や参加者の年齢構成は様々です。各サロンに応じたスポーツ等を紹介するとともに、スポーツ備品の貸し出しやスポーツに関する情報を提供するなど継続的な取り組みができるよう側面的な支援を実施します。	ふれあい・いきいきサロン出前講座
	4 スポーツ・健康教室開催事業	誰もが参加できるスポーツ教室と、スポーツ教室間の交流事業を展開します。また、スポーツを通じたコミュニティづくりを目指した子ども教室、親子健康教室、障がい者スポーツ教室、高齢者教室などを開催します。	①健康運動教室及びリズムカルフィットは、嘉穂総合体育館や稲築体育館において定期的な運動教室を実施することで、市民のスポーツ機会の充実を図るとともに新たなコミュニティの形成を図りました。 ②産後ママのリフレッシュケアは0歳児を養育する母親を対象に自宅でできるトレーニングや食事指導を実施することにより、産後の母親のスポーツ機会の充実や健康増進を図るとともに新たなコミュニティの形成を図りました。 ③悩み解消トレーニングは、65歳以上の男性を対象に、腰痛や肩こりなど悩みに応じた筋力トレーニング教室を実施することで、高齢者男性のスポーツ機会の増加を図りました。	①健康運動教室は95回実施し、延べ1,344人が参加しました。リズムカルフィットは4月から11月まで32回実施し、延べ605人が参加しました。 ②産後ママのリフレッシュケアは8回実施し、延べ43人が参加しました。 ③悩み解消トレーニング教室は12回実施し、延べ59人が参加しました。	託児付きの教室や産後の母親を対象にした教室、高齢者の男性を対象とした教室を実施し、参加者層の偏りや固定化の解消を図ってきました。高齢者男性を対象とした悩み解消トレーニング教室は参加者が少ない状況であるため、参加者の増加を目指した対策が必要です。	高齢者男性向け教室は30年度の取り組み実績を踏まえ、開催時期や時間帯の再検討を図ります。また、周知方法も広報嘉麻やホームページへの掲載など情報提供の充実を図ります。	①健康運動教室及びリズムカルフィット ②産後ママのリフレッシュケア ③悩み解消トレーニング教室
	5 スポーツ大会誘致・スポーツ大会支援	各種スポーツ大会・スポーツ合宿を誘致し、市民の運営や企画への参加を促します。	①誘致大会は例年開催しているフットサルの大会及びテコンドーの大会が開催されました。加えて今年度は新たにFリーグ（フットサルリーグ）所属のボルクバレット北九州（本拠地は北九州）の準ホーム地として誘致ができました。 ②合宿は嘉穂東高校、飯塚高校、田川高校、近大福岡高校の陸上部が合宿地として陸上競技場を利用し、合同練習として他校の参加もありました。	①フットサル大会は10回開催、延べ1,970人が参加、テコンドー大会は1回開催、200人が参加しました。Fリーグは3回開催、803人が参加しました。 ②嘉穂東371人、飯塚高校261人、田川高校20人、近大福岡100人が利用しました。	交流人口の増加のため、スポーツ大会及び合宿誘致の各団体への働きかけと合わせて、ホームページなどを利用して広く情報提供を行うことが必要です。	周辺のお弁当店や飲食店、宿泊施設など合宿に関する情報を整理しホームページに掲載します。また、ボルダリング施設が整備されたことから、産業振興課と連携し交流人口の増加に努めます。	①大会誘致事業 ②合宿誘致事業

平成30年度事業実績及び平成31年度事業計画

令和元年6月26日 平成31年度第1回嘉麻市スポーツ推進審議会

基本目標	基本施策	事業概要	平成30年度 事業実績		平成31年度事業計画		
			実施事項	成果	課題	課題解決に向けての対策	実施事項
2 スポーツ環境の整備	1 スポーツ施設情報提供事業	広報紙、回覧等を使って施設の利用を促進します。スポーツのみに限定することなく、施設における新しい視点による「運動遊び」を紹介したり、また自然の中でのスポーツイベントや、ジョギング、ウォーキングなどの軽運動などのイベントを紹介します。	サルビアパークにおいて、施設の利用者やその保護者及び観覧者等がウォーキング・ジョギングできるよう施設周辺のウォーキング・ジョギングマップを設置することで、ウォーキング・ジョギング人口の増加を図りました。	サルビアパークにウォーキング・ジョギングコースの看板を設置しました。	スポーツ施設を活用したウォーキング・ジョギングコースの増設を図るとともに、市民が気軽にスポーツ施設を利用できるように、施設で実施できる運動を情報提供することが必要です。	スポーツ施設を活用したウォーキング・ジョギングコースの増設を進めます。また施設で実施できる運動を広報嘉麻やホームページで情報提供します。	①ウォーキング・ジョギングコース案内看板の設置及び情報提供の充実
	2 人間に有益なスポーツ運動施設の改善事業	脳は、少しの工夫で適切な刺激を受けて、脳の機能をより良く発達させることができます。ささやかな工夫で効果が期待される、人間にとって心理的、行動的に有益な環境づくりと整備を、スポーツ運動施設、保育所、幼稚園、学校、公共施設などで進めます。特に、誰もがができる家庭における生活環境の改善を市民の間に広げます。	荒木名誉教授の研修会の中で脳機能発達を目指したスポーツ環境の整備に関する講話を実施することで、身近な家庭環境における脳機能の発達を意識した環境づくりの啓発を図りました。	「荒木式」スポーツコーディネーショントレーニング教室の受講者に対して研修会を実施し、保護者17人が受講しました。	研環境整備の対象は、身近な家庭環境から公共施設までと広範囲であるため、まずは身近な家庭環境における脳機能の発達を意識した環境づくりへの取り組みが必要です。平成30年度は荒木先生の研修会を実施しましたが、より多くの市民への啓発が必要です。	荒木先生の研修会の内容をまとめたパンフレット等を作成し、市民への情報提供を図ります。	①「荒木式」スポーツコーディネーショントレーニング教室受講者に対する研修会 ②嘉麻市スポーツ情報ホームページでの情報提供 ③家庭でできる乳児コーディネーショントレーニングガイドブックへの内容掲載
	3 自然のなかでの豊かな運動環境の開発事業	自然のなかで、人間は心理的にも身体的にも健康志向が育まれます。自然の色彩、自然からの多彩な刺激は、脳の機能に大きな作用を及ぼします。自然豊かで文化性に満ちた市内の環境を再発見し、ジョギング、ウォーキングなどの手軽な運動に最適な運動環境を整備し、市民の利用を促進します。	市内の史跡や自然を活用したウォーキングコースを作成し、文化財係との連携により、文化資産の説明を交えたウォーキングイベントを実施することで、ウォーキング人口の増加を図りました。	4月に熊ヶ畑地区、10月に碓井地区においてウォーキングコースを設定しイベントを開催しました。延べ19人が参加しました。	史跡や自然を活用したコースの増設を図っていますが、イベントへの参加者数及び継続的なウォーキング人口の増加が課題です。	既定コースにおける定期的なウォーキングイベントを開催するとともに、イベントの事前周知や活動内容、ウォーキングが健康にもたらす効果など情報提供の充実を図ります。	①市内の史跡などを巡るウォーキングコースやトレッキングコースの設定及びイベント開催 ②嘉麻市スポーツ情報ホームページへの情報提供
3 生涯スポーツの推進	1 子育て・子育て支援事業	「プログラムA1」 コーディネーション理論を基にした家庭教育、子育て支援事業を進めます。発達障がいや障がいを持つ子ども達の能力開発と支援事業を進めます。誰もがができる身近な生活改善と環境整備、市民同士が自由に語り合える子育て相談など、地域のコミュニティづくりに貢献する「地域で取りくむ子育て」支援と「自然が促す子育て」の実現をはかります。	乳児を対象としたコーディネーション理論やトレーニングを掲載した啓発冊子「家庭でできる乳児コーディネーショントレーニング」を配布することにより、保護者が家庭でトレーニングできるよう普及を図りました。	啓発冊子は、健康課を通じて、生後2か月を経過した赤ちゃんの家庭訪問の際に、保護者に対して配布しました。	運動の苦手な子や動きの気になる子、発達の遅れが気になる子に対する育児や保育など発達の課題に対する荒木先生への相談が増加しています。発達の課題に対する子育て支援の充実が必要です。	家庭でできる乳児コーディネーショントレーニングガイドブックの改訂にあわせて、発達の課題に対応したトレーニング等の内容を掲載します。	家庭でできる乳児コーディネーショントレーニングガイドブックの改訂
	2 保育、幼児教育の推進事業	「プログラムA2」 保育所、幼稚園で、脳、体、心の育みを促すコーディネーション運動を推進します。発達障がい児や障がい児に対する運動やスポーツカウンセリングを推し進め、みんなが希望を持てる子育て環境をつくりまします。誰もが参加でき、誰もが実践可能な理論から始まり、より高度な実践理論にいたるまで、多くの人が参加できる幅広いプログラムの展開ができる体制を整えます。	①荒木名誉教授によるコーディネーショントレーニング指導者研修会を実施することにより、乳幼児施設の指導者の育成を図りました。 ②私立保育園、私立幼稚園については、トレーニング指導に係る経費を補助するプロジェクトK事業推進補助金を交付することで、トレーニングの普及を図りました。 ③子どもの発達に不安のある家庭を対象に荒木名誉教授とマンツーマンでコーディネーション理論の観点から子どもの様子を観察しアドバイスを行う「こどもクリニック」を実施することにより、保護者が子どもの発達に応じた子育てができるようトレーニングの普及を図りました。	①荒木名誉教授の研修会に参加した乳幼児施設の職員は、延べ104人です。 ②私立保育園6カ所、私立幼稚園3カ所が補助金を活用し月1回程度のトレーニングを実施しました。 ③こどもクリニックは7人が受講しました。	運動の苦手な子や動きの気になる子、発達の遅れが気になる子に対する育児や保育など発達の課題に対する荒木先生への相談が増加しています。発達の課題に対する子育て支援の充実が必要です。	発達の課題をテーマとした研修会を開催し、指導者の育成を図るとともに、保護者向けの啓発、こどもクリニックの開催や情報の共有など支援の充実を図ります。	①乳幼児施設職員を対象としたコーディネーショントレーニング指導者研修会 ②プロジェクトK事業推進補助金の交付 ③こどもクリニック

平成30年度事業実績及び平成31年度事業計画

令和元年6月26日 平成31年度第1回嘉麻市スポーツ推進審議会

基本目標	基本施策	事業概要	平成30年度 事業実績		平成31年度事業計画		
			実施事項	成果	課題	課題解決に向けての対策	実施事項
	3 小学	<p>《プログラムB1》 小学校低学年に対する運動を通じた体力向上、運動能力向上、豊かな感情と知的好奇心の育成を図ります。問題を抱える子ども達に対する、学校教育の中でのスポーツや運動を通じた心の教育を押し進めます。</p> <p>発達障がい児、障がい児に対する運動プログラムを展開し、子ども達の間で、相互の理解と助け合う心の育みを進めます。</p> <p>《プログラムB2》 小学校高学年に対するスポーツと運動を通じた体力、運動能力向上を図るとともに、身体活動を通じた学力向上を目指します。</p> <p>発達障がい児、障がい児は、定型的発達児とは異なる能力を発揮することがあります。こうした子ども達の能力を最大限に活かすべく、確実な支援体制をつくり、明るい学校づくりを進めます。こうした多様な運動プログラムを展開し、子ども達の間で、相互の理解と助け合う心の育みをはかります。</p> <p>《プログラムC》 中学生を対象に、スポーツと運動、子ども達とのふれあいを通じた情操教育をすすめて、自らの体力・運動能力の向上とともに、スポーツへの参加意欲を促し、知的好奇心を育みます。</p> <p>発達障がいや障がいを持つ子ども達に、運動を通じた学習支援、生徒相互による助け合い、相互に理解を深めるスポーツ教育を定着させます。</p>	<p>①荒木名誉教授によるコーディネーショントレーニング指導者研修会は、小中学校の教員を対象とした1日合同研修会と稲築中学校における荒木名誉教授の公開授業を通じた実技研修会を実施することにより、小学校及び中学校の指導者の育成を図りました。</p> <p>②小学校児童を対象に、スポーツ推進課職員によるトレーニング指導を実施することにより、小学校におけるトレーニングの普及を図りました。</p> <p>③子どもの発達に不安のある家庭を対象に荒木名誉教授とマンツーマンでコーディネーション理論の観点から子どもの様子を観察しアドバイスをを行う「こどもクリニック」を実施することにより、保護者が子どもの発達に応じた子育てができるようトレーニングの普及を図りました。</p>	<p>①荒木名誉教授の研修会に参加した小学校の教員は延べ20人、中学校の教員は延べ13人です。</p> <p>②すべての小学校で実施しました。</p> <p>③こどもクリニックは10人が受講しました。</p>	<p>小学校における運動指導はスポーツ推進課職員によるものが中心となっていますので、小学校教員が独自に実践できるよう徐々に指導の役割を移行していくことが課題です。</p>	<p>小中学校の教員に対する研修会を充実し、更なる指導者の育成を図るとともに、中学校を対象とした実技研修会を実施します。また、新学習指導要領に対応するコーディネーショントレーニング指導書を作成します。</p>	<p>①小中学校教員を対象としたコーディネーショントレーニング指導者研修会</p> <p>②新学習指導要領に対応するコーディネーショントレーニング指導書の作成</p> <p>③スポーツ推進課職員による小学校出前講座</p> <p>④こどもクリニック</p> <p>⑤小学校体育専門指導者の配置の検討</p>
	5 生涯学習、社会人学習としてのスポーツ活動支援事業	<p>《ライフ・プログラム》 スポーツは、競技スポーツだけではなく、身近な運動、楽しい運動によって、人間相互の信頼と共同体意識を育むことができます。こうした広く市民を元気にするスポーツ運動への参加、企画への参加を促すとともに、市外、県外からの多くの人の参加を促します。</p> <p>人間の能力は、大人になっても伸び続けることに確信を持ち、家庭や職場でも率先して、積極的に行動する市民を輩出し、豊かな市民文化を創成していきます。</p>	<p>スポーツ推進課主催の健康運動教室やふれあい・いきいきサロン出前講座においてコーディネーショントレーニングの導入を図りました。</p>	<p>健康運動教室は95回実施し、延べ1,344人が参加しました。</p> <p>7地区のサロンに1回または2回実施し、延べ203人が参加しました。</p>	<p>健康運動教室やふれあい・いきいきサロン出前講座においてコーディネーショントレーニングを実施していますが、参加者は高齢者が多く、全ての市民への普及が課題です。</p>	<p>すべての市民がコーディネーショントレーニングを気軽に取り組めるよう、トレーニングを掲載したポスターを作成し、各世帯に配布します。</p>	<p>コーディネーショントレーニングポスターの作成</p>
	6 高齢者の生きがいある生活実現のための事業	<p>《シルバー・プログラム》 高齢者は、単に心身の働きが低下するだけではなく、高齢期にこそ伸びる能力もあります。それは、全体を見渡せる能力、直観的に感じる能力、状況をつかむ能力です。こうした能力は、身体を使い、身体で感じるという高齢者スポーツ運動によって伸ばすことが可能です。</p> <p>これを目的とした高齢者教室を開くとともに、高齢者の経験を活かし、高齢者が活躍できる場と世代間交流をはかるスポーツ運動の環境を提供していきます。</p>	<p>今年度から嘉麻市社会福祉協議会のふれあい・いきいきサロン取り組み団体に対する出前講座において、コーディネーショントレーニングを実施することにより、高齢者に対するトレーニングの普及を図りました。</p>	<p>7地区のサロンに1回または2回実施し、延べ203人が参加しました。</p>	<p>健康運動教室やふれあい・いきいきサロン出前講座において、コーディネーショントレーニングを実施していますが、限定的で、高齢者全体に対する体系的な導入が課題です。</p>	<p>すべての市民がコーディネーショントレーニングを気軽に取り組めるよう、トレーニングを掲載したポスターを作成し、各世帯に配布します。</p>	<p>①健康運動教室</p> <p>②ふれあい・いきいきサロン出前講座</p> <p>③コーディネーショントレーニングポスターの作成</p>

平成30年度事業実績及び平成31年度事業計画

令和元年6月26日 平成31年度第1回嘉麻市スポーツ推進審議会

基本目標	基本施策	事業概要	平成30年度 事業実績		平成31年度事業計画		
			実施事項	成果	課題	課題解決に向けての対策	実施事項
4 競技スポーツの推進	1 各種競技大会、未経験の競技体験会の開催事業	<p>公的な各種スポーツ競技大会を開催します。また、手軽に参加できる小規模な競技会も開催し、能力に応じた目標を立てることによるモチベーションの向上を図ります。</p> <p>子ども達を対象に、普段、経験したことないスポーツの体験会を開催します。それを契機にして、さまざまなスポーツに関心を抱き、自らが関心を持つスポーツ探しの意識を育みます。</p>	<p>①市体育協会やその加盟する団体、各種実行委員会に対し財政的な支援を実施することにより、教室・大会の円滑な実施や活動の活性化を図りました。</p> <p>②小学生を対象にカヌー教室とボルダリング教室を実施することで、子ども達が未経験のスポーツを体験することにより様々なスポーツに対する関心を深めました。</p>	<p>①市民総合体育大会には15種目880人が、県民体育大会には8種目115人が参加しました。シティマラソンは649人、子ども駅伝は690人が参加しました。</p> <p>②カヌー教室は4回実施し、延べ32人の児童が、ボルダリング教室は1回実施し27人の児童が参加しました。</p>	<p>未経験の競技体験会はカヌー教室とボルダリング教室を実施しました。子ども達が様々なスポーツに関心が持てるよう継続的に事業を実施するとともに、様々なスポーツを実施する等事業の充実が必要です。</p>	<p>ボルダリング教室は、嘉麻スタイルと連携し、市内の子ども達を対象に教室を実施します。また、その他、市内の自然環境を生かしたスポーツ教室や嘉麻市体育協会と連携した教室を検討します。</p>	<p>①市体育協会及び各実行委員会に対する財政的支援</p> <p>②カヌー、トレイルランニング、ボルダリング等のスポーツ体験会</p>
	2 子ども達のスポーツと競技力向上への関心を高める事業	<p>地域の子供達による、発育発達に即した各種スポーツ大会を開催します。スポーツに関心を寄せ、楽しさを見い出すトップアスリートとの交流会を開催します。</p> <p>子ども達のタレント発掘と競技力育成に関わる事業を展開します。市民を中心としたさまざまな分野に携わる人々の集団的な協力で、全国で、世界で活躍できるスポーツ選手の育成に取り組みます。</p>	<p>①市内の年長児から中学生までを対象に、プロバスケットボール選手によるバスケットボール教室を実施することで、夢と希望を持ってスポーツに取り組む子ども達の育成を図りました。</p> <p>②小学生を対象としたドッジボール大会を実施することで子ども達の競技スポーツへの関心を高めました。</p> <p>③小学3年生を対象とした荒木式スポーツコーディネーショントレーニング教室を開催し、低学年期に応じたスポーツコーディネーショントレーニングプログラムを実施することで、将来さまざまなスポーツに対応できるよう、子どもの潜在能力の全体的な育成を図りました。</p>	<p>①市内の年長児から小学生まで27人、中学生30人の計57人が参加しました。</p> <p>②市内小学校の低学年2チーム、高学年5チーム93人の児童が参加しました。</p> <p>③市内の小学3年生7人、4年生10人の計17人が、年16回基礎的なトレーニングのほか水泳、テニス、バレーボールのスポーツコーディネーショントレーニングを受講しました。</p>	<p>子ども達のタレント発掘と競技力育成に向けた事業については、平成29年度からサルビアパークにおいて指定管理者と連携し、小学3年生を対象とした荒木式スポーツコーディネーショントレーニングを実施しています。29年度及び30年度は水泳、テニス、バレーボール競技の種目を実施しました。その他の種目についても実施できるよう事業の充実が必要です。</p>	<p>荒木式スポーツコーディネーショントレーニングについては、様々な種目の教室が実施できるよう、各種スポーツ団体と連携を図ります。</p>	<p>①小学生を対象としたドッジボール大会</p> <p>②トップアスリート選手によるスポーツ教室</p> <p>③荒木式スポーツコーディネーショントレーニング教室</p>
	3 指導者養成・育成とスポーツ科学の普及事業	<p>スポーツ指導者、スポーツ推進委員、教員、保育士、一般市民を対象にした身近なスポーツ科学、運動科学、栄養学などに関する学習会、研修会を開催します。</p> <p>全国で活躍できる選手育成を目的とした幅広いスポーツ指導者の発掘、育成に努め、適切な指導理論の情報と機会を保障します。</p> <p>競技力向上の土台となるコーディネーショントレーニングの普及と指導者研修を行うことによって、競技団体の意欲を高め、相互の協力関係を築き上げます。</p>	<p>荒木名誉教授によるコーディネーショントレーニングの指導者研修会を実施し、指導者の育成を図りました。</p>	<p>年間7回の研修会を実施し、延べでスポーツ推進委員42人、保育士104人、学童保育士2人、小学校教員20人、中学校教員13人、障がい者施設10人、スポーツ施設21人、PTA111人、その他16人の計339人が受講しました。</p>	<p>スポーツ指導者の育成については、競技力向上の土台となるコーディネーショントレーニングの指導者研修会を中心に実施しました。スポーツ推進委員や地域活動指導員をはじめ、乳幼児施設職員、小中学校教員など多くの指導者が受講しています。今後もコーディネーショントレーニング研修会の内容の充実を図るとともに、幅広いスポーツ指導者の発掘、育成を図ることが必要です。</p>	<p>今後もコーディネーショントレーニング研修会の内容の充実を図るとともに、幅広いスポーツ指導者の発掘、育成を図ります。また、コーディネーショントレーニング指導者相互の意見交換や課題の共有ができるようネットワークを作ります。</p>	<p>①荒木教授によるコーディネーショントレーニングをはじめ身近なスポーツ科学や運動科学、栄養学などに関する研修会</p> <p>②コーディネーショントレーニング指導者ネットワークの構築</p>